OUTDOOR &SPORTS

VICTORINOX 004

My First Victorinox Multi Tools

vol.4 海の漂着物で楽器をつくろう

VICTORINOX

ビクトリノックスのマルチツールは、今から130年ほど前、スイスの小さな村で生まれました。毎回、子ども用に開発された「ティンカー for KIDS」を使って、親子でものづくりに挑戦します。先生は、インテリアデザイナーの阿部臣吾さん。今回は、砂浜でひろった流木や貝がらなどを使って楽器をつくります。

How to make a Driftwood Instrument

海の漂着物で楽器をつくろう

ラウンドティップ・ブレードで木の皮を削りとります。

枝の先端から5cmぐらいのところに、リーマーで穴をあけます。

グリップ部分にも、リーマーで穴をあけます。

王冠を、石など硬いものでたたいて平たくします。

王冠と貝がらの中央に、リーマーをゆっくり動かして穴をあけます。

ワイヤーの片側に小さな枝を巻きつけてストッパーにし、ワイヤーを枝の穴にとおします。

ワイヤーに、貝がら、ビーズ、王冠をとおします。

もう一方の穴にワイヤーをとおして、枝に巻きつけます。

ラウンドティップ・ブレードでグリップの部分を削り、なめらかにしてにぎりやすくします。

麻ひもをグリップの穴にとおして結んだら、完成。リズムに合わせて鳴らしてみましょう！

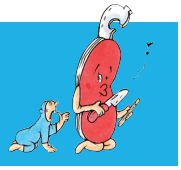
用意するもの

ティンカー for KIDS
Y字の流木
貝がら
王冠
ワイヤー
ビーズ各種
麻ひも

profile

阿部臣吾　インテリアデザイナー。1977年生まれ。桑沢デザイン研究所インテリアデザイン科卒業後、デザイン会社、内装施工会社を経て、2001年にデザイン事務所SMILIESを設立。店舗内装・リノベーションなどを中心に、現場作業で得た感覚を大切にした空間づくりを模索中。

point!▶ 流木に穴をあけるときは、割れ目がないところを選びます。貝がらはとても繊細なので、リーマーをゆっくり動かして穴をあけましょう。貝がらや王冠の間にビーズをはさむと音が出やすくなります。アレンジとして、好きな色で流木をペイントしたり、麻ひもにビーズを通すと、かわいく仕上がります。



写真：福田真知子　イラスト：中垣ゆたか

VICTORINOX

スイスの小さな村で生まれたマルチツール

1884年、ドイツとフランスで刃物づくりの修業を積んだ創業者カール・エルズナーが、故郷スイスのイーバッハという小さな村で工房を開設したことから始まり、ビクトリノックスのマルチツールは生まれました。創業から1世紀以上、人々の日常生活をサポートするだけでなく、エベレスト、アマゾンやスペースシャトルの船内など、さまざまなアドベンチャーの現場にも立ち会っています。

VICTORINOX for KIDS

先端が丸くなったナイフを搭載したマルチツール「ティンカー for KIDS」は、子どもが初めてもつ1本として推奨しています。その「ティンカー for KIDS」と、ナイフを使った工作を提案する「脳育工作キット」をセットにした「ビクトリノックス脳育工作BOXセット」。ナイフの正しい使いかたを学べる教本も同梱され、ナイフ経験に自信のない保護者の方でも、子どもと一緒に楽しむことができるセットです。

ティンカー for KIDS（単品）
¥2,800（税抜）

脳育工作 BOX セット
ひのきのおやこばし
¥3,800（税抜）

脳育工作 BOX セット
ひのきのとんぼ
¥3,800（税抜）

［お問い合わせ］ ビクトリノックス・ジャパン株式会社　☎ 03-3796-0951
www.victorinox.com/jp